

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

関西経済レポート

関西の各種指標をみると、海外経済減速などの影響から足踏み状態が継続し、一部で弱含みの動きが見られる。

輸出は、中国を含むアジア向け、欧州向けの減少が続き、厳しい状態が続く。

雇用は持ち直しの傾向が一服し、消費も横ばいとなっている。

先行きについては、日中関係悪化の長期化、電力の供給制約、海外経済の動向や為替相場の影響等に注視が必要である。



2012年11月30日

関経連経済調査部

本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

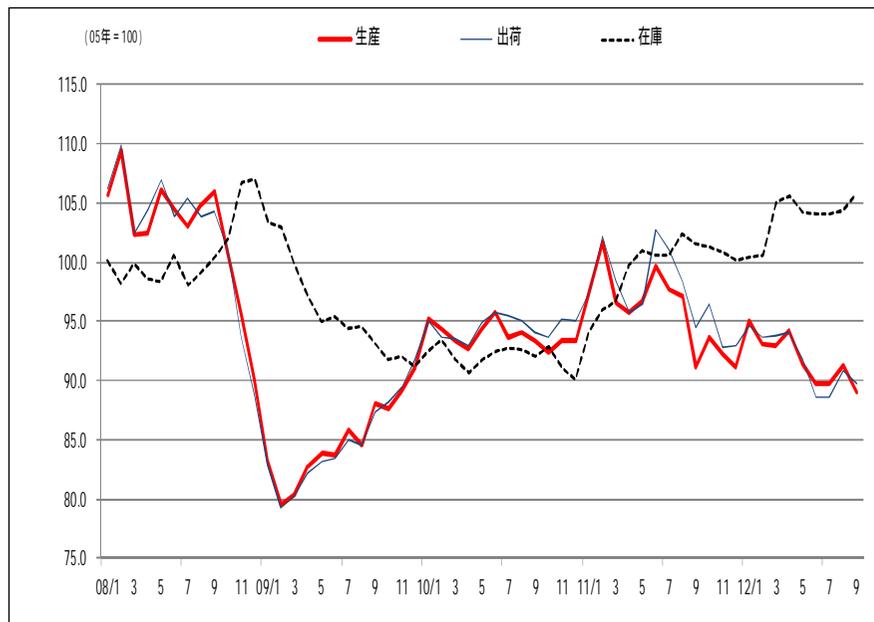
ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

~ 目次 ~

生産	・ ・ ・ ・ ・	1
輸出入	・ ・ ・ ・ ・	2
個人消費	・ ・ ・ ・ ・	3
雇用	・ ・ ・ ・ ・	4

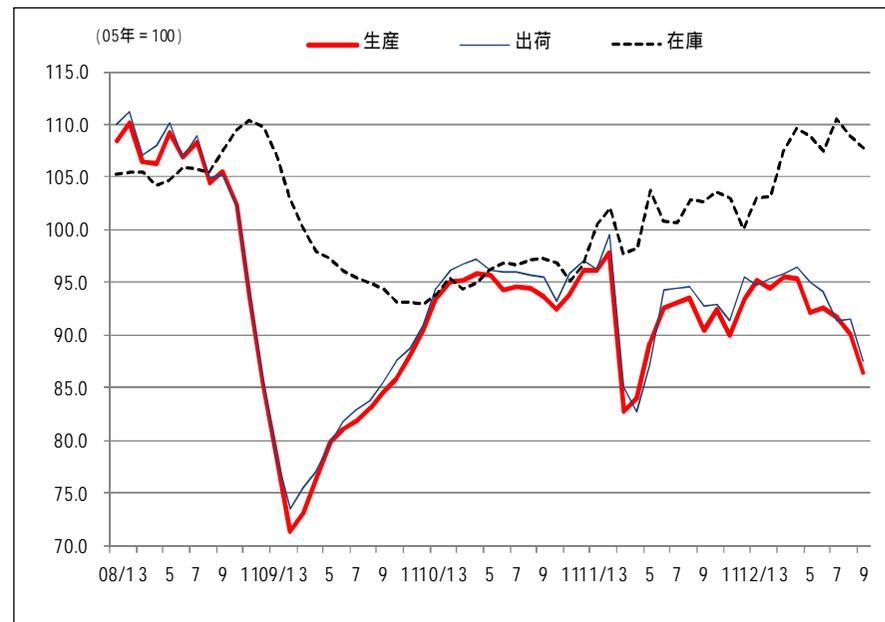
～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年9月確報まで）



（出所）近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年9月確報まで）

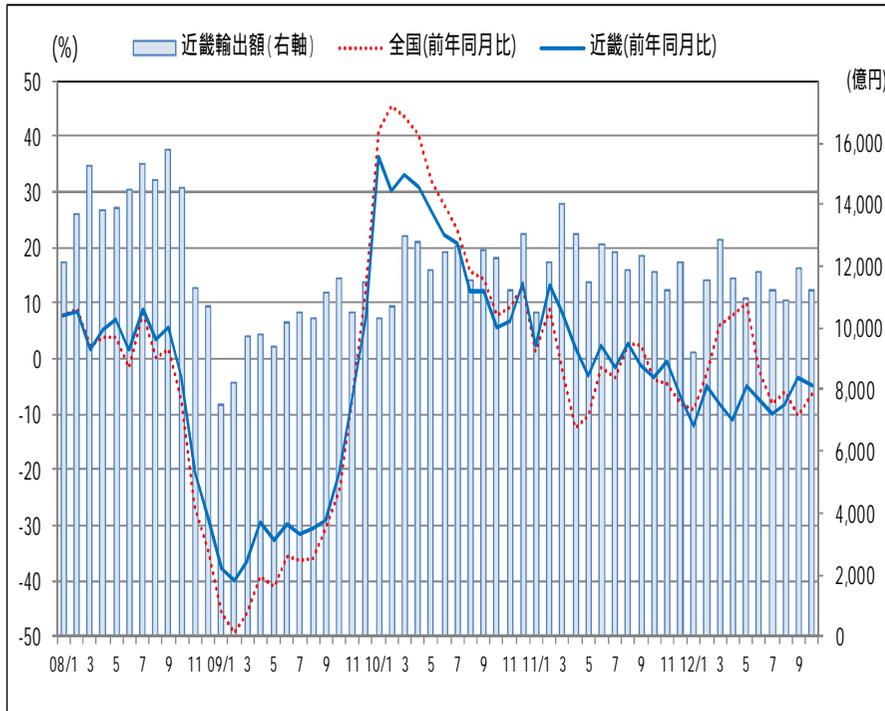


（出所）経済産業省

- ・ 近畿の9月（確報）の鉱工業生産指数は、89.1。前月比 2.4%と2カ月ぶりの低下。総じて見れば、生産は弱含み。
 出荷は前月比 1.2%の89.7と、2カ月ぶりの低下。在庫は、前月比 +1.4%の105.8と2カ月連続の上昇。
 業種別にみると、化学工業（除・医薬品）、一般機械工業、輸送用機械（除・鋼船、鉄道車両）等の生産が低下。
 品目別にみると、ガスタービン、軸受、ショベル系採掘削機械などが低下に寄与。
- ・ 全国の9月（確報）の鉱工業生産指数は、86.5。前月比 4.1%と3カ月連続の低下。総じて見れば、横ばいの傾向。
 出荷は、前月比 4.3%の87.6と2カ月ぶりの低下。在庫は、前月比 0.9%の107.8と2カ月連続の低下。
 業種別では、輸送用機械工業、一般機械工業、鉄鋼業等などが低下に寄与。
 製造工業生産予測調査によると、10月は低下、11月は上昇を予測している。

～ 輸出入 ～

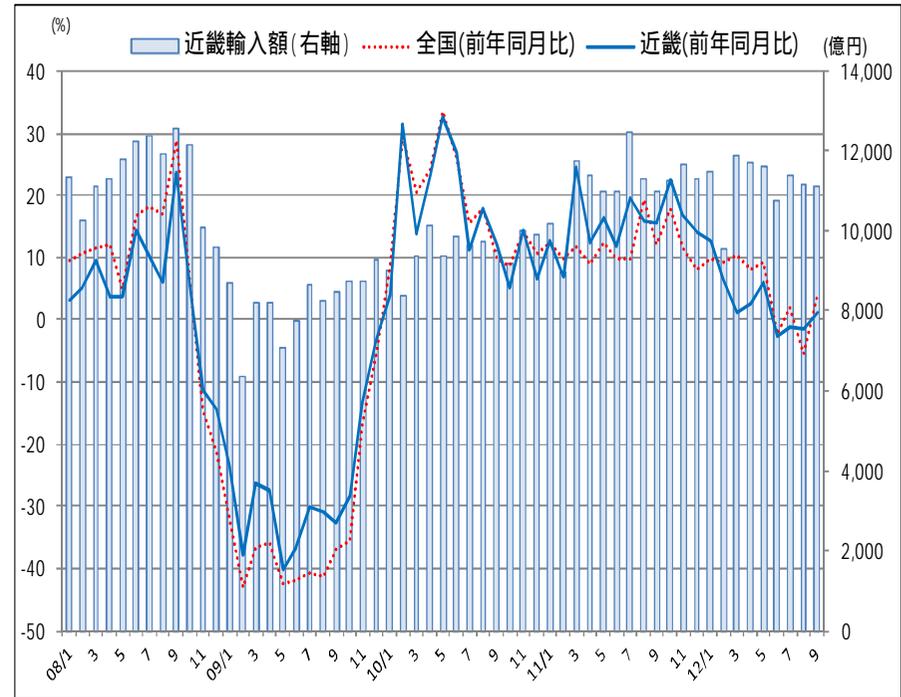
輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年10月まで）



近畿の月次の輸出動向（2012年10月まで）

- 10月の近畿の輸出額は1兆1,247億円、前年同月比 4.8%。
14カ月連続の前年同月比マイナス。
- 建設用・鉱山用機械、鉄鋼、半導体等製造装置等が減少。
- 地域別では、アジア向けが前年同月比 1.8%13カ月連続のマイナス。うち中国向けは同 4.1%と11カ月連続のマイナス。
EU向けは同 21.1%と15カ月連続のマイナス、米国向けは同+4.4%と3カ月連続のプラス。
- 全国の10月の輸出額は5兆1,500億円、前年同月比 6.5%。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年10月まで）



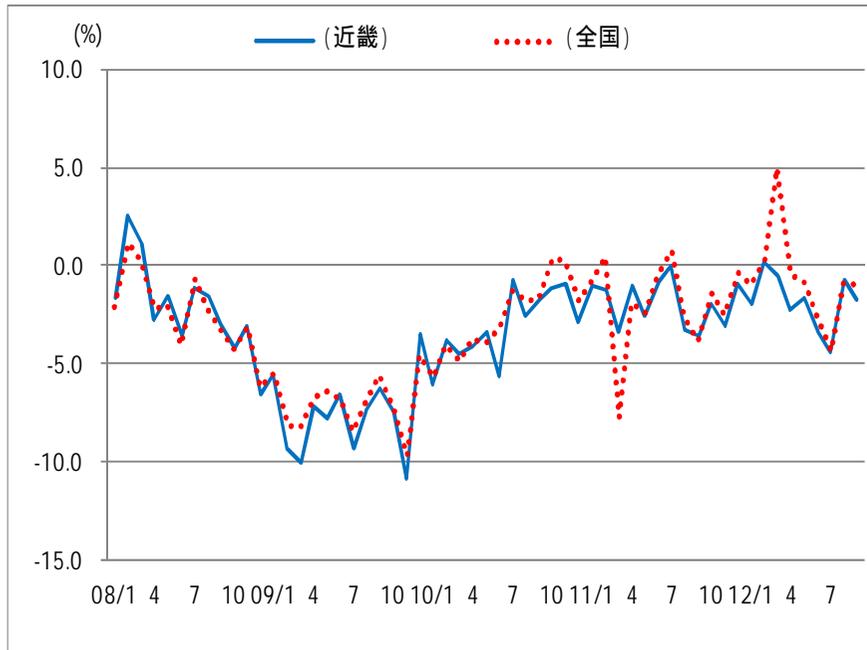
近畿の月次の輸入動向（2012年10月まで）

- 10月の近畿の輸入額は1兆1,262億円、前年同月比 +0.1%と2カ月連続のプラス。
- 通信機、医薬品、衣類及び同付属品等が増加。
- 地域別では、対アジアが前年同月比 2.4%と2カ月ぶりのマイナス。アジアのうち対中国が同 0.8%と2ヶ月ぶりのマイナス。対米国が同+6.3%と2カ月ぶりのプラス。
対EUは同 +20.2%と2カ月ぶりのプラス。
- 全国の輸入額は5兆6,990億円、前年同月比 1.6%と2カ月ぶりのマイナス。

出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

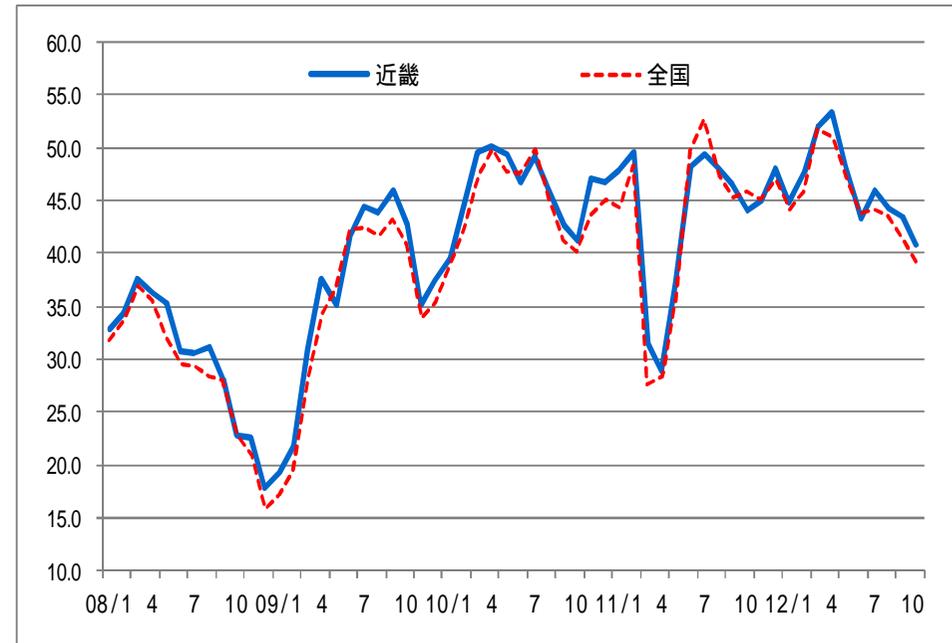
～ 個人消費 ～

大型小売店販売額（前年同月比・2012年9月まで）



（出所）近畿経済産業局

景気ウォッチャー調査（現状判断DI・方向性 2012年10月まで）



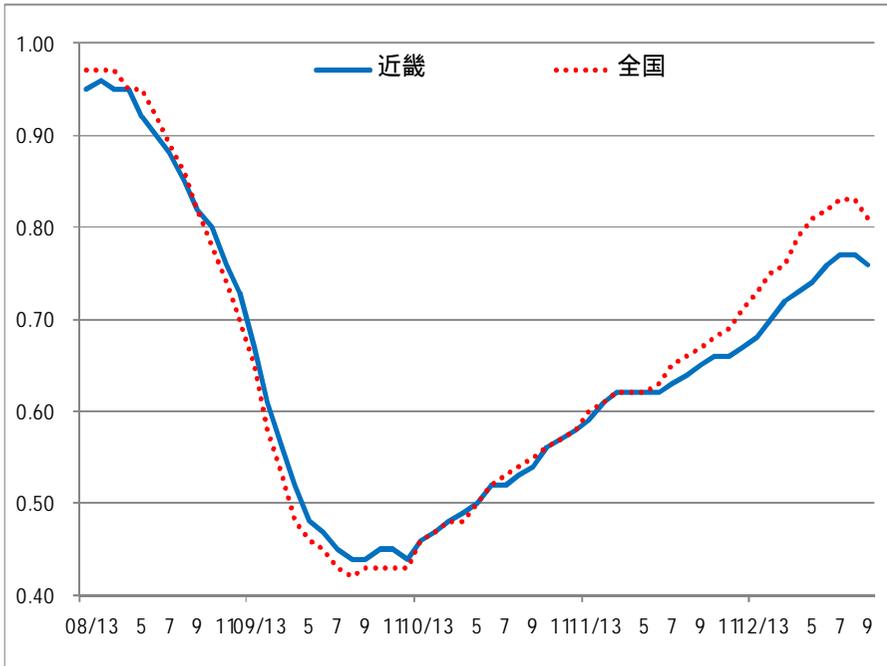
（出所）内閣府

- ・ 近畿の9月の大型小売店(百貨店 + スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比 1.7%と7カ月連続のマイナス。
- ・ スーパーは同 2.9%と46カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同 +0.4%と、6カ月ぶりのプラス。
- ・ 残暑の影響で夏物商品は好調であったものの、秋物が低調に推移したことなどからマイナスに。
- ・ 全国の9月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同 1.0% 5カ月連続のマイナス。

- ・ 10月の近畿の現状判断DIは前月比 2.6ポイントの40.8と、3カ月連続の低下。気温が高めであったことから秋物の売行きに影響がでたことや、日中関係悪化の影響等により低下。
- ・ 企業動向においては、引き続き円高や海外経済停滞等による受注の減少等がみられ低下した。
- ・ 全国の10月の現状判断DIは前月比 2.2ポイントの39.0。
- ・ 近畿の10月の先行き判断DIは前月比 +3.1ポイントの45.0と、4カ月ぶりの上昇。
- ・ 先行きは、梅田地区での百貨店のリニューアルや駅ナカ施設の開業等から年末商戦の盛り上がり期待し、上昇。
- ・ 全国の先行き判断DIは同 1.8ポイントの41.7。

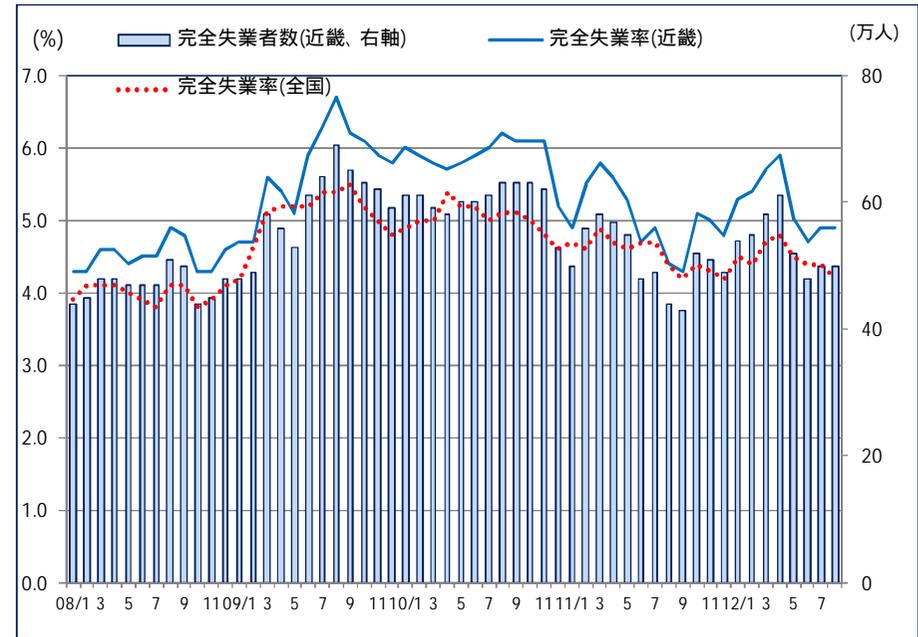
～ 雇用 ～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年9月まで）



（出所）厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年9月まで）



（出所）総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率2012年9月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
8月	0.83	0.60	0.90	0.84	0.85	0.94	1.00	0.77	0.93	0.86	0.69
9月	0.81	0.61	0.88	0.81	0.83	0.93	0.96	0.76	0.92	0.84	0.67

- ・ 2012年9月の近畿の有効求人倍率は0.76倍、前月比 0.01ポイントの悪化。
- ・ 全国は0.81倍で、前月比 0.02ポイントの悪化。

- ・ 9月の近畿の完全失業率（原数値）は4.7%。前月比 0.2ポイントの改善。
前年同月比では +0.4ポイント悪化。
- ・ 持ち直しの傾向が一服していいいる。

- ・ 9月の全国の完全失業率（原数値）は4.2%、前月から横ばい。
- ・ 9月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.2%、前月から横ばい。